

お客様各位

外務省より、下記の通りヨルダン全域に「十分に注意して下さい」が発せられました(以前の危険度1 注意喚起)が、弊社主催の各ツアーに関しまして、予定通りご出発頂けます。
尚、お手配旅行・自由行動(旅行)中は十分ご注意下さい。

【主催企画】

(株)ピーエス観光
(国土交通大臣登録旅行業第347号)
〒150-0004 東京都港区新橋3-2-7
 恭和ビル4F
TEL: 03-3502-4022

【お申込み】

(株)エアークリスタル
(東京都知事登録旅行業代3-5400号)
〒160-0018 東京都新宿区須賀町1番地
 サントピア四谷1F
TEL: 03-5368-0951

ヨルダンに対する渡航情報(危険情報)の発出(2008/02/12)

1. ヨルダン全域:「十分に注意してください。」

(1) ヨルダンの治安状況はおおむね安定しています。一方、2005年8月には、ヨルダン南部のアカバで、米軍輸送艦及びイスラエルのエイラート空港を標的としたミサイル発射事件が発生しました。これに続き、同年11月9日には、首都アンマンのラディソンSAS、グランド・ハイヤット、デイズ・インの3つのホテルで多数の死傷者を出す自爆テロ事件が発生しました。この自爆テロ事件に関するヨルダン政府の発表によれば、4人(うち1人は女性で未遂により逮捕)の実行犯はイラクから偽造パスポートを使って陸路でヨルダンに入国し、各ホテルの結婚式会場、ロビー付近でわずかな時間差でほぼ同時に自爆しました。事件後、ザルカーウィー(ヨルダン出身)率いる「イラク聖戦アル・カイダ」(「メソポタミアのジハード基地組織」(当時) 現在ザルカーウィー派は「イラク・イスラム国」に加わったとみられています。)がアラブ系ウェブサイトにて犯行声明を出し、ヨルダン人に対して、政府関連施設や外国公館、欧米権益や欧米人が利用する観光ホテルなどに近寄らないよう警告し、ヨルダンにおけるテロを継続する意思を表明しました。その後、2006年6月7日、バグダッド北方における米軍とイラク治安部隊との合同作戦によりザルカーウィーは死亡しました。同人の死亡は、傘下のテロリストグループにとって大きなダメージとみられます。しかし、これらグループは比較的自立した活動をしていることから、ザルカーウィーの死亡によって大幅な活動低下をもたらされることはないと考えられています。

(2) 2006年9月4日、首都アンマン市内の観光名所であるローマ円形劇場において、外国人団体旅行者がヨルダン人により銃撃を受け、英国人1人が死亡、英国人2人、オランダ人1人、ニュージーランド人1人、オーストラリア人1人及びヨルダン人警官1人の計6人が負傷する事件が発生しました。ヨルダン政府は、「本事件は組織だった犯行ではなく、単独犯による犯行である。」旨発表しています。

つきましては、ヨルダンへ渡航・滞在される方は上記情勢に留意し、テロ事件等不測の事態に巻き込まれることのないよう十分な注意が必要です。

また、外務省、在ヨルダン日本国大使館、現地関係機関等により最新情報を入手するよう努めて下さい。

(問い合わせ先)

外務省領事局海外邦人安全課(テロ・誘拐に関する問い合わせを除く)

東京都千代田区霞ヶ関 2-2-1

電話:(外務省代表)03-3580-3311 (内線)5140

外務省領事局邦人テロ対策室(テロ・誘拐に関する問い合わせ)

東京都千代田区霞ヶ関 2-2-1

電話:(代表)03-3580-3311 (内線)3679

外務省海外安全相談センター

東京都千代田区霞ヶ関 2-2-1

電話:(代表)03-3580-3311 (内線)2901

外務省海外安全ホームページ <http://www.anzen.mofa.go.jp/>

携帯電話用: <http://www.anzen.mofa.go.jp/i/>

在ヨルダン日本国大使館

(所在地) Between 5th and 6th Circles, Ibn Al-Furat Street, Zaharn
Area, Basin No.21 Southern Um Utheinah, Amman

電話:(962-6)5932005、5930428